

心通い合う医療をめざすコミュニケーション冊子

八幡中央病院／京都八幡病院／学研都市病院／百万遍クリニック／真鍋整形外科医院
介護老人保健施設石清水／訪問看護ステーション梨の里／八幡市乳幼児健康支援ディサービスたんぽぽ
精華町病後児保育事業病後児保育室ひまわり／特別養護老人ホームゆりのき

今年一年も健康でありますように、
無理をせず目標をもって
充実した毎日をお過ごしください。



2011年
Vol.31

百万遍クリニック 市民公開講座開催

2010年10月3日(日)、午後1時半より、京都市下京区のシルクホールにて京都府立医科大学消化器内科・がん免疫細胞制御学講座主催、医療法人社団 医聖会共催による市民公開講座「体にやさしい最先端のがん治療」が開催されました。掘場製作所最高顧問 堀場雅夫氏による「京都からの医療革命『自今生涯』」、京都府立医科大学消化器内科教授 吉川敏一氏による「がん診療の今と未来」と題した講演をはじめ、がん免疫療法・温熱療法・化学療法に関する最新のがん治療法についての説明が行われました。当日は、約500名の方が来場され、後半には、活発な質疑応答があり、盛会のうちに終了しました。当日の内容については百万遍クリニックホームページに掲載されています。(http://100manben-c.jp/)併せて、『京都府立医大のがん「温熱・免疫療法」』(PHP研究所)吉川敏一著が出版されました。ご購入を希望される方は各施設事務長にお問合せ下さい。



医聖会理念

患者さまと病院職員は、心の通い合う医療を通じて、お互いの信頼のもとで、ともに手をたずさえて病気の克服に努めます。

基本方針

- 私たちは安全管理および、患者さまのプライバシー保護に最大の努力を払い、患者さまが安心と満足の得られる質の高い医療を提供します。
- 私たちは患者さまの意見・立場を大切に、説明と理解、同意に基づいた信頼される医療を提供します。
- 私たちは地域の人々および、医療機関との緊密な連携を図り、より良い医療を提供します。
- 私たちは常に知識と技術の研鑽に努め、高い倫理観を持ち、互いの人格を尊重し、チーム医療の向上と働きがいのある職場づくりを志向します。

医療法人 社団 医聖会

石清水トピックス

学研都市病院 目の健康セミナー

消化管内視鏡検査のおすすめ

八幡中央病院
巻き爪治療のご案内

介護老人保健施設石清水

12月行事「クリスマス会」

医聖会 女子バレーボール部

医師紹介

季刊誌 石清水 もくじ

百万遍クリニック

市民公開講座開催

痛みやしびれを、我慢しないで!

スタッフボイス

人工透析が必要になっても、
生きがいのある生活が続けられます

医聖会トピックス

八幡中央病院 消防訓練を実施

iwashimizu 2011 vol.31

石清水

いわしみず

2011
vol.31

iwashimizu / 2011年
2011年11月発行 監修
発行元/医療法人社団 医聖会
TEL 075-982-0599 FAX 075-982-0598

消化管内視鏡検査のおすすめ

わが国で最も多いがんの一つである胃がんや食生活の欧米化とともに急増している大腸がんの早期発見に大きな役割を果たしているのが、消化管内視鏡検査(いわゆる胃カメラ・大腸カメラなど)です。もちろん、がん以外の潰瘍、炎症、ポリープ、消化管出血の有無の診断などにも内視鏡検査は欠かすことはできません。一方、消化管内視鏡は低侵襲的な治療手段としても用いられるようになりました。例えば、一昔前なら外科的開腹手術の対象とされていた疾患の治療の一部が、潰瘍に対する出血の内視鏡的止血術の考案そして消化管ポリープや食道・胃・大腸の早期がんの内視鏡的切除術の開発などにより、内視鏡機器を用いた患者さまにやさしい「おなかを切らない」治療法に様変わりし注目されております。このような状況のもとで、八幡中央病院に4名、学研都市病院に3名の消化器内科の常勤医師が、真摯にかつ積極的に患者さまの安全、安心を第一に考えた内視鏡による診断・治療に取り組んでおります。胸やけ、胃のもたれ、おなかの痛み、便通の異常、便に血が混じるなどの症状がある方はもちろん、自覚症状のない方でも定期的な内視鏡検査を受けられることをお勧めします。

介護老人保健施設石清水 12月行事「クリスマス会」

介護老人保健施設石清水では、12月15日(水)にひと足早いクリスマス会を開催しました。職員がサンタクロースやトナカイに扮し、キャンドルサービスやボランティアの皆様によるハンドベル・マジックショーなどもあり、施設内はクリスマスムードたっぷりでした。ハンドベルの透き通るような音色に、利用者の皆様も聞き入っておられ、マジックショーでは本物の鳩が出てきたときには大歓声が上がりました。利用者様の笑顔に職員も思わずニコリとなり、施設全体で楽しいひと時を過ごしました。これからも、当施設での時間を利用者様に沢山の笑顔で過ごしていただけるよう、様々な取り組みや催しを行いたいと思います。



マジックショー



ハンドベル

● 経歴

平成 8年 3月 京都府立医科大学医学部 卒業
平成 8年 4月 京都府立医科大学附属病院第1内科研修医
平成 10年 4月 社会保険京都病院内科医員
平成 13年 4月 京都府立医科大学大学院 入学
平成 14年 12月 洛和会音羽病院消化器内科医員
平成 17年 4月 康生会武田病院消化器センター
平成 20年 10月 国民健康保険新大江病院
平成 21年 4月より現職

● 資格

医学博士・日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医・日本消化器内視鏡学会専門医
日本消化管学会認定医・日本ハイパーサーミア学会認定医

百万遍クリニック 院長 坂元 直行
外来担当日 火・水・金・土曜日 ※くわしくは別紙の担当医表をご確認ください。

● 経歴

平成 12年 3月 京都府立医科大学医学部 卒業
平成 12年 4月 京都府立医科大学外科研修医
平成 14年 4月 社会保険京都病院外科
平成 16年 4月 京都府立医科大学消化器外科研修医
平成 18年 4月 大島病院外科
平成 18年 4月 京都府立医科大学大学院医学研究科入学
平成 22年 3月 京都府立医科大学大学院医学研究科卒業
平成 22年 4月より現職

● 資格

日本外科学会専門医

医師紹介

腹腔鏡による胆石や大腸癌、胃癌の手術を行います。それによって患者さまの身体への負担が軽減され、回復が早くなります。ご相談下さい。



● 経歴

平成 12年 3月 京都府立医科大学医学部 卒業
平成 12年 4月 京都府立医科大学外科研修医
平成 14年 4月 社会保険京都病院外科
平成 16年 4月 京都府立医科大学消化器外科研修医
平成 18年 4月 大島病院外科
平成 18年 4月 京都府立医科大学大学院医学研究科入学
平成 22年 3月 京都府立医科大学大学院医学研究科卒業
平成 22年 4月より現職

● 資格

日本外科学会専門医

八幡中央病院 消化器外科 大澤 るみ

外来担当日 水・土曜日 ※くわしくは別紙の担当医表をご確認ください。

医療法人 社団 医聖会

医聖会ホームページ: www.iseikai.jp

八幡中央病院

〒614-8071 京都府八幡市八幡五反田39-1
TEL 075-983-0119(代) FAX 075-983-0310

京都八幡病院

人工透析センター、健診センター、
脊椎・腎臓センター
〒614-8114 京都府八幡市川口別所61
TEL 075-971-2001(代) FAX 075-983-0185

百万遍クリニック

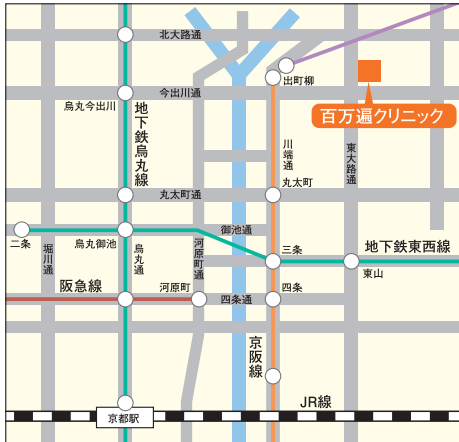
〒606-8225 京都府京都市左京区田中門前町103-5
京都バスターミナル研究ビル1F
TEL 075-791-8202 FAX 075-705-0025

真鍋整形外科医院

〒573-1115 大阪府枚方市東船場2-149-7
TEL 072-867-5551 FAX 072-867-5531



各施設とも大山崎IC、八幡東ICより約10分



学研都市病院

人工透析センター、健診センター、
脊椎・腎臓センター
〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台7丁目4-1
TEL 0774-98-2123(代) FAX 0774-98-2101

介護老人保健施設 石清水

〒614-8114 京都府八幡市川口別所66
TEL 075-972-2111(代) FAX 075-971-2003

ひまわり

〒619-0225 京都府木津川市木津川台1丁目19番1
TEL 0774-75-1132 FAX 0774-75-1134

社会福祉法人 京都山城福祉会 特別養護老人ホーム ゆりのき

痛みやしびれを、我慢しないで！

学研都市病院内の脊椎脊髄センターでは、年間5百件以上の脊椎脊髄手術をおこなっており、多くの方が腰痛や足腰のしびれから開放され、生き生きとした第二の人生を手に入れています。「腰痛は治らない」「背骨の手術はこわい」とあきらめている方へ、一度脊椎脊髄外来を受診してみませんか？ 木村浩明医師に、お話をいただきました。

脊椎脊髄外来では、どのような症状の方が受診していますか

腰痛、手足の麻痺やしびれ、痛み、歩行障害、長い距離が歩けない、手足の脱力感（力が入らない）、ふるえなどでお悩みの患者さまが、1日の外来で平均30人くらい受診されています。これらの症状の多くは、背骨の中の脊柱管という神経の通り道が加齢などにより狭くなったり、変形したりして、中の神経が圧迫されて起きるものです。比較的若い方は椎間板ヘルニアが多く、中年以降の方は脊柱管狭窄症が圧倒的に多くなります。腰椎分離症、腰椎すべり症、圧迫骨折、脊柱側弯症なども、背骨の変形や異常による疾患です。脊椎脊髄外来では、レントゲン検査、MRI、CTなどにより、痛みやしびれの原因、病巣を突き止め、正確な診断と時期を逃すことのない治療を心がけています。

治療の時期が大切ということですね

そうですね。腰痛やしびれは、がんのような病気と違って、放置していても命の危険はありません。だからこそ耐え難い痛みやしびれを何年も一人で我慢している方が多いんです。また、ひざなどの関節痛と違って、椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症による神経痛は、重くなると我慢できるものではありません。余りのつらさに、うつ病になる方もいらっしゃるほどですから。私は、患者さまの日頃のライフスタイルや人生観などをお聞きした上で、患者さまの「生活の質」がもつとも向上するように治療方針を立てています。薬やブロック注射で痛みが解消するのであれば、保存的治療をおこない、保存的治療ではコントロールできないと判断すれば、手術をお勧めします。手術は時期が重要で、何年も我慢していた方の場合、手術が成功して痛

みはとれても、筋肉が萎縮して、歩行がうまく回復しないこともあります。

学研都市病院内の脊椎脊髄手術は有名で、他府県からの受診も多いと聞きます

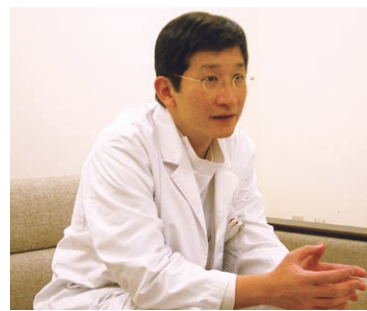
年間、5百件を超える手術件数は国内でもトップクラス。当院の院長、四方實彦医師は、脊椎脊髄手術のバイオニアとして広く知られています。豊富な経験から、麻酔方法や手術方法も確立しており、出血の少ない、時間の短い、非常にいい手術をおこなっています。他の病院で「歳だから無理」と見放された90歳代の方が手術でお元氣になられたり、他の病院でうまくいかなかった方の再手術をおこなったりもします。手術の基本は、神経が圧迫されている部分を広げ神経除圧術。必要であれば金具などで固定（脊柱固定術）して安定させます。高齢社会の進展で、脊柱管狭窄症などの脊椎脊髄疾患は増加する一方。できるだけ患者さまの負担の少ない手術をということで、内視鏡手術も取り入れるなど、最新の治療にも取り組んでいます。手術は怖いという方にも、安心して手術を受けていただきたいですね。何より大切なのは患者さまの意欲で、自分の足で歩きたい、痛みから解放されたい、仕事に復帰したい、第二の人生を楽しみたいといった強い思いや目標のある方は、回復も早いです。

手術の後は、どのような暮らしになりますか

5分も歩けなかつた方が、すたすた歩けるようになる、痛みやしびれでいつも顔をしかめ、うつ状態だった方が笑顔になる…。手術後、歩行許可が出ると皆さん晴れやかな顔になります。私も、そんな患者さまを見ていると、整形外科医になって本当によかったと思います。整形外科の中でも脊椎脊髄外来は、造影



剤による検査や画像の読み方、手術の技術など、学ぶことも多く診断が難しいからこそ、やりがいを感じます。私は、痛みを我慢されている方に、痛みのない、いい人生を生きていただけるようにサポートしたいと考えています。この記事をお読みの方の中にも、腰痛や麻痺でお困りの方も多いはず。こじらせる前に、ぜひ、気軽に脊椎脊髄外来にお越しください。



学研都市病院 整形外科・リハビリテーション科
医師 木村 浩明

【経歴】
平成11年3月 京都大学医学部 卒業
平成11年4月 京都大学医学部附属病院整形外科
平成12年6月 国立京都病院整形外科
平成14年6月 長浜赤十字病院整形外科
平成17年4月 京都大学大学院医学研究科 入学
平成21年3月 京都大学大学院医学研究科 卒業
平成21年4月 洛和会音羽病院整形外科
平成22年4月 より現職

【資格】
平成18年 日本整形外科学会 専門医
平成21年 京都大学 医学博士
平成22年 日本整形外科学会脊椎脊髄病認定医

〈外来担当日〉火・土曜日

腎臓の機能を機械で代行する「人工透析」

人工透析は、動かなくなった腎臓に代わって、人工的に血液中の尿毒素や余分な水分を取り除く療法です。慢性腎不全で人工透析を始める、腎移植をしない限り、1回4時間・週3回（週2回で済む場合もある）の透析を一生続けることになります。時間的にも、身体的にも、大きな負担がかかりますが、この分野の技術は飛躍的に進んでおり、透析を始めて20年、30年と一気には過している患者さまもたくさんいらっしゃいます。年齢は、80歳前後を中心に、中には90歳近い方も。国内外の透析センターと連携することで、出張や海外旅行も可能になりました。当院は、地域に根ざした総合病院ですから、内科や泌尿器科、腎不全科、栄養士やリハビリの先生などが協力して、透析患者さんの生活の質の向上に努め、食事や生活上のサポートまでできるメリットは大きいと思います。また、午前だけでなく、午後の透析も始めましたので、時間の都合もつけやすくなりました。4時間、退屈されないように地デジ対応のテレビが各ベッドに備えつけられています。

生命維持に欠かせない尿毒素と余分な水分の排出

腎臓は背骨の両側にあるソラメのような形をした小さな臓器で、中には糸球体という、毛細血管が網目のように張り巡らされた構造体があります。腎動脈から入ってくる大量の血液は、糸球体を通して「尿毒素と呼ばれる身体に障害を与える物質や体に貯まった余分な水分が取り除かれ、尿が作られ、排出されるのです。また、ナトリウム・リン・カリウム・カルシウム・塩化物イオン・尿酸イオン・重炭酸イオンなどの電解質の濃度を一定に保ち、血圧を安定させ、造血ホルモンを分泌。骨の生成に必要なビタミンDの活性化にも関与しています。ですから、腎不全になると、尿毒素が体にたま

人工透析が必要になっても、生きがいのある生活が続けられます

何らかの原因で腎臓が機能しなくなり、人工透析を受ける人は全国に約29万人（2009年データ）。技術の進歩は著しく、最近はフルタイムで働く人や海外旅行を楽しむ人も多いとか。

京都八幡病院人工透析センター（27床）の姫田健・泌尿器科部長に、腎臓病の予防も含めてうかがいました。

腎不全の予防は、健康診断と血管に負担をかけない食生活

では、腎不全を予防するにはどうしたらいいかというと、自覚症状がないので、定期的に健康診断を受け、早期に異常を発見するしかありません。そして「尿にたんぱく質が出ている」「血尿が出ている」といった所見があったときは、必ず内科や泌尿器科を受診することです。またバランスの取れた食生活も大切です。近年は糖尿病の合併症による糖尿病腎症から透析に至る方が圧倒的に多くなりました。糖尿病や高血圧症にかからないように、血管に負担がかからないように注意することが重要ですね。腎臓は一度だめになると、回復しないことを忘れないでください。ただし、「尿にたんぱく質が出た」といっても一時的な疲れによる場合もあるので、あまり心配しすぎないように。当院の腎不全科外来では、いつでも精密検査ができますから、気軽に来院してください。

人工透析の新たな可能性に挑戦する

私が泌尿器科を選んだのは、診断から治療、手術まで、トータルでできる点と、救急医療や最先端医療の中で、人工透析が大きな役割を果たすようになったからです。また、重症の感染症や、あるいは外科手術の術後管理の中で、人工透析による血液浄化が非常に役立つケースが分かってきました。そういった新たな可能性にも挑戦しています。



京都八幡病院 泌尿器科部長
姫田 健 医師

【経歴】
平成13年3月 京都府立医科大学 卒業
平成13年4月 京都府立医科大学泌尿器科入局
平成13年7月 舞鶴赤十字病院
平成14年7月 京都府立医科大学泌尿器科
平成15年4月 静岡厚生病院
平成16年4月 福知山市民病院
平成17年4月 湖北総合病院
平成18年4月 京都第一赤十字病院
平成21年4月 京都八幡病院

〈外来担当日〉木曜日



当院の人工透析センターは、スタッフの経験も豊富で、高い意欲を持っています。皆さんには、透析を受けながらも、人生を大いに楽しんでいただけるようにサポートいたします。

① 医聖会トピックス

八幡中央病院

消防訓練を実施

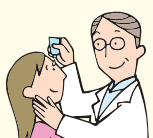
八幡中央病院では、12月17日（金）午後3時より、八幡市消防本部のご協力の下、消防訓練を実施しました。訓練では、夜間に病棟から火災が発生したと想定し、実際に火災報知器を鳴らし、通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練などを行いました。訓練後は八幡市消防本部の方から講評を受け、消火器の使用訓練も行いました。患者さまの命を預る病院として、病院内で災害が発生した場合に職員が適切な行動を取るには、常に「防災」に対する意識を高く持っておかなければなりません。消防訓練という機会を通じて「防災」に対する意識を高め、災害発生時に職員が迅速かつ確かな行動が取れるよう、今後も訓練に注力して参ります。



石清水トピックス

学研都市病院 目の健康セミナー

学研都市病院では、10月9日（土）に「みんなが知りたい眼の話～老視・白内障・加齢黄斑変性～」をテーマに、目の健康セミナーを開催致しました。当日は雨模様でしたが多数の参加者を迎え、畑中宏樹先生（京都府立医科大学眼科学教室／精華町立中学校眼科健診担当医）より、質疑応答を交えながらわかりやすいお話がありました。現在の眼科診療は、外来（火・金・土）と手術（金午後）です。目の症状でお悩みの方、是非ご来院下さい。



staff voice

医聖会で働くスタッフの声をお届けします。

voice. 1 ひとつひとつを確実に。患者さまの心に寄り添える看護を目指して。



八幡中央病院
3階病棟 看護師
松山 奈都美

平成22年4月に入職し、半年余りが過ぎました。現在は、一般病棟に看護師として勤務しています。日々の仕事は忙しいですが、患者さまに「ありがとう」と言われた時には嬉しくなり、特に「看護師さん」ではなく名前と呼ばれた時はより一層嬉しいです。今は覚えることが多く、自分自身の将来の目標を決めることはできていません。目の前にあることをひとつひとつ覚えていきたいと思っています。何年経っても患者さまの心に寄り添える看護はどういう看護か、自問自答しながら仕事をしていきたいと思っています。

voice. 2 患者さまの心のケアと優しく頼りがいのある看護師を目指して



学研都市病院
西3病棟 看護師
稲葉 沙耶

看護師になり、学研都市病院に勤務し2年近くになります。日々新たな気持ちで患者さまの看護を行っている中、自分の不注意で先生に厳しく指導されたり、ご家族と共に患者さまを看取った時には、自分の責任の重さを痛感しております。しかし、現在勤務している職場は笑顔が絶えず、落ち込んでいる時には先輩が親身になって相談ののってくれて少しずつ成長しています。将来は、看護技術はもちろん、患者さまの心のケアが出来る、優しく頼りがいのある看護師になるのが目標です。